

看護研究 第32巻 総目次

1999年(第1号～第6号)

〔表示は、題名、著者名、(号)掲載頁〕

焦点◆家庭訪問／訪問看護の 意味を見出す質的研究

Joyce Zerwekh 博士の研究と研究方法
(企画：村嶋幸代)

- 地域看護職の能力に関する研究と Joyce Zerwekh 博士
の仕事：家庭訪問および訪問看護に焦点をあてて
村嶋幸代・斉藤恵美子・服部真理子・萩原章子・鷺
見尚己・上野昌江・金川克子 (1)3-14
- 家族の自助能力を支える基礎作りとしての訪問ケア：
家族を見つける、信頼関係を構築する、そして強さを
育む Joyce V Zerwekh 著 萱間真美・玉置夕起
子 訳 (1)15-24
- 保健婦活動のための家族ケア提供モデル Joyce V
Zerwekh 著 斉藤恵美子 訳 (1)25-32
- ホスピス看護における看護ケアモデル Joyce V
Zerwekh 著 永田智子 訳 (1)33-43
- 熟練保健婦の臨床能力に関する記述的研究の実際
Joyce V Zerwekh 著 狭川庸子 訳・解説
(1)45-52

焦点◆災害看護学の構築に向けて(II) (企画：近田敬子)

- 災害看護学構築に向けての課題と展望 南 裕子
(3)3-11
- 被災者の生活立て直しへの援助 仮設住宅における看
護活動の実績指標開発 井伊久美子 (3)13-21
- 援助者自身の生活の立て直しへの援助 被災者である
とともに援助者でもある看護職者自身の生活の立て
直しに向けての課題 近田敬子・石橋寿子
(3)23-31
- 防災と看護 病院の看護部門における危機管理 新道
幸恵 (3)33-42
- 災害看護学教育と意識の災害モードへの切り換え 山
本あい子 (3)43-46
- 災害看護ネットワークの試み 日本看護科学学会災害
看護特別研究委員会の活動として 片田範子
(3)47-51

焦点◆感染看護に関する研究と実践 (企画：高橋泰子)

- 感染看護に関する看護研究の動向と今後の課題 私の
考え方 高橋 泰子 (4)3-6
- 海外の感染看護に関する研究論文 西岡みどり
(4)7-16
- 感染管理実践者のための教育 Mary Castle White・
Hanako Misao 著／操 華子 訳 (4)17-25
- 手術部入口に設置した強酸性水湿潤マットの除菌効果
豊田富士子・森済省子・新屋綾子・斎藤由美子・
井上真由美・吉田美恵子・齋藤英昭・遠藤美代子・
高橋泰子 (4)27-34
- 内科病棟における清潔管理に関する検討 空气中浮遊
菌および床細菌を中心として 遠藤美代子・高橋泰
子 (4)35-43
- 膀胱留置カテーテル装着患者の尿路感染成立と影響す
る因子についての検討 井上都之・田村正枝・宮沢
広恵・石川みち子・高橋泰子 (4)45-53
- 医療用手袋の役割と限界 看護職の健康を守るバリア
として 佐々木美奈子・高橋泰子 (4)55-64
- 重症患者ケア後のナース手指付着菌と石鹸・流水によ
る手洗い後の生残菌に関する研究 高橋泰子
(4)65-71
- 集中治療室(ICU)医療スタッフの手荒れ対策に関する
研究 斎藤ゆみ・酒井美砂・石田かよ・市川法恵・
平山真喜子 (4)73-79

焦点◆看護学の枠組みと 学術用語としての看護用語

- 看護学における学術用語の生成とその諸問題 現象か
ら概念へ、そして学術用語の成立 野島良子・真壁
五月 (5)3-10
- 看護実践のターミノロジーにおける問題点と課題 日
本看護科学学会看護学学術用語検討委員会活動報告
をもとに 藤崎郁・中西睦子・村嶋幸代・太田勝
正・河口真奈美・田中初美・片山京子・山下欽子・
中根薫・近森栄子・安藤幸子・松木光子・村田恵
子・新道幸恵 (5)11-19

看護用語とその分類における課題

中木高夫 (5)21-29

情報科学からみた看護診断分類の分析 木村 義

(5)31-43

CINAHL 看護シソーラスの翻訳と分析 和田佳代

子・伊関節子・松本直子ほか (5)45-55

〔原著論文〕

精神分裂病者に対する訪問ケアに用いられる熟練看護職の看護技術：保健婦、訪問看護婦のケア実践の分析 萱間真美 (1)53-76

看護専門職における自律性と職場環境および職務意識との関連：経験年数ごとにみた比較 菊池昭江

(2)2-13

がん患児を支える母親の内的過程 発病期から末期以前まで 新山裕恵 (2)15-28

在宅高齢者の日常生活動作に対する自己効力感測定の試み 自己効力感と関連する要因の検討 鈴木みずえ・金森雅夫・山田紀代美・鈴木勝子・斉藤一路女・加納克己 (2)29-38

心理的な代理母親役を必要とした妊婦への援助 佐藤珠美・竹ノ上ケイ子・松山敏剛 (2)39-51

地域に住む精神障害者の障害認識と対処努力 精神障害者の主観的体験に基づく分析 葛西康子・古塚孝

(2)53-62

カンガルーケアを実施する母親の体験 中島登美子

(5)57-65

痴呆老人がとる微小な行動の意味に関する考察 阿保順子 (5)67-81

〔研究報告〕

悲嘆状況にある患者のケア ケアリングの観点から

松田光信・浅田庚子 (1)77-83

痴呆性老人介護における一般の人々の社会始原利用に対する阻害要因 松鶴甲枝・井手三郎・内藤長男

(2)63-69

高齢者の睡眠に及ぼす寝床内暖房器具の影響 宮島朝子・若村智子・柴田しおり・志村満子・大原美香・近田敬子・柴田真志 (6)23-33

咀嚼運動による脳血液循環の変化測定におけるドブラー法の有効性 杉山公子・奥村千春・渡邊信一郎

(6)35-44

在宅介護者の Health Related QOL の測定 訪問看護ステーション利用者の介護者而非介護者の比較 古瀬みどり・鈴鴨よしみ・熊野宏明 (6)45-50

訪問看護婦のストレス因子の検討 松山洋子・若佐柳子・青木きよ子 (6)51-58

看護婦の「バーンアウト」と「共依存」傾向に関する研究 細見潤・藤本洋子・片平久美・古家隆 (6)59-67

〔調査報告〕

看護における研究の変遷と現状 看護系雑誌4誌における研究の傾向 飯田晴美・梅崎敦子・小野雄一・黒川みどり・佐藤亜衣・小林万里子・廣瀬規代美・林 陸郎 (1)85-89

血友病ナースコーディネーター導入にあたっての問題点 小野織江・黒木久美子・鈴木祐見子・仁神享子・吉川喜美枝・岩永幸子・白幡聡・滝正志・福武勝幸 (2)71-77

痴呆症患者の主介護者の負担に対する教育介入の効果について 井上真由美・森脇由美子・大川敏子・橋本純代・小林広子・博野信次・森悦朗 (3)53-60

出生前診断に対する態度とその変容可能性 玉井真理子 (6)13-22

〔実践報告〕

排尿障害のある患者の援助 携帯型超音波膀胱画像診断装置を活用して 安川揚子・巻田ふき・白坂誉子・林圭子 (5)83-90

〔総説〕

セクシュアリティに対する看護者の知識／態度 文献的考察 朝倉京子 (6)2-11

〔資料〕

脳血管障害者と家族介護者を対象とした支援プログラムの開発のための文献検討 河原加代子 (6)71-80

〔翻訳〕

高齢者の認知機能障害と神経行動障害に対する介入

Diane Cronin-Stubbs 著／新田静江 訳

(3)61-75

〔研究ノート〕

グラウンデッド・セオリー・アプローチを用いた研究によって看護学が得るもの 『質的研究の基礎：グラウンデッド・セオリーの技法と手順』を読む 萱間真美 (3)77-81

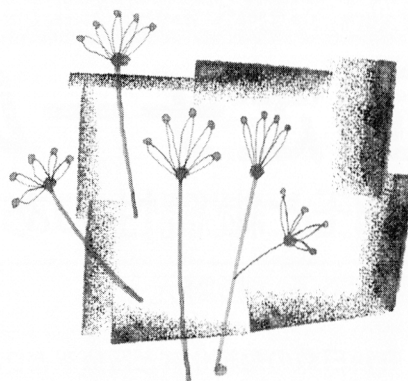
〔書評〕

医療の質改善へ向けての基本的入門書 JCAHO 医療における質改善入門 [評者]上泉和子 (3)82

「気づかい」という視座から臨床の現場を照らし出す
ベナー／ルーベル 現象学的人間論と看護 [評
者]勝又正直 (3)83
マーサ・ロジャーズ最後の著作集 マーサ・ロジャ
ーズの思想：ユニタリ・ヒューマンビーイングズの探
求 [評者]筒井真優美 (6)70

〔学会報告〕

21 世紀に向けての看護倫理教育の展望 ジョージタ
ウン大倫理研究所 IBC に参加して 丸山マサ美
(4)81-84
科学的根拠に基づく看護実践と学問としての構築を目
指して 母性看護学会設立 工藤美子 (4)86-87



INFORMATION

平成 12 年度日本赤十字看護大学 大学院学生募集

〔修士課程第(2次)〕

募集人員：10 名程度

出願期間：

2000 年 2 月 7 日(月)～17 日(木)(消印有効)

検定料：3 万円

選抜方法：

第 1 次試験(学力検査)

外国語：英語(英和辞書持込可)

小論文

専門科目：志望する専門領域(基礎看護学, 母性看護学,
老人看護学, 精神保健看護学, 地域看護学, 看
護教育学, 国際看護学)

第 2 次試験(第 1 次試験合格者のみ)

面接

試験日：2000 年 3 月 1 日(水)第 1 次試験

2000 年 3 月 2 日(木)第 2 次試験

試験場：日本赤十字看護大学(東京都渋谷区広尾 4-1-3)

第 1 次合格発表：2000 年 3 月 2 日(木)午前 10 時 本学内

第 2 次合格発表：2000 年 3 月 6 日(月)午前 10 時 本学内

〔博士後期課程(第 2 期)〕

募集人員：5 名

出願期間：

2000 年 2 月 7 日(月)～17 日(木)(消印有効)

検定料：3 万円

選抜方法：

外国語：英語(英和辞書持込可)

専門科目：志望する専門領域(基礎看護学, 母性看護学, 小
児看護学, 成人看護学, 老人看護学, 精神保健看
護学, 地域看護学, 看護教育学, 看護管理学)

面接

試験日：2000 年 3 月 1 日(水), 2 日(木)

試験場：日本赤十字看護大学(東京都渋谷区広尾 4-1-3)

合格発表：2000 年 3 月 6 日(月)午前 10 時 本学内掲示及び

本人に通知

問合せ先 〒 150-0012 東京都渋谷区広尾 4-1-3

日本赤十字看護大学 学生課・入試係

電話 03-3409-0950